



星溪園

市政、ここが知りたい!

一般質問 (要旨)

9月定例会では、次の22人の議員により、市政に関する一般質問が行われました。数多くの質問の中から、1人の議員につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。なお、答弁文末の()内は、主な所管課です。

電子申請について

松本 富男 議員

問

①電子申請でできることは何か、またその申請状況について②住民基本台帳カードの発行を増やす努力はしているのか、それぞれ伺いたい。

答

①埼玉県と県内四十二市町で共同運営している電子申請システムにおいて、市民課所管では、住民票の写しの請求等六種類で、平成十九年度の利用件数は三件、環境衛生課所管では、犬の登録・死亡の届出等六種類で、利用件数は二件である。本市独自で導入している手続きなど、総体の利用件数は五万八千六百四十九件である。②住基カードは電子政府・電子自治体の基礎であり、住民サービスの向上や利便性の向上、行政事務の効率化を推進するものであることから、市報、ホームページによる広報やパンフレット等の配布により随時、周知、啓発を行っている。

○その他の質問項目

(情報政策課)
「新しい公について」ほか

行田市との合併について

三浦 和一 議員

問

①現在進めている特別市と中核市では、どのようなところが違うのか②行田市との合併を現時点では、どのように考えているのか、それぞれ伺いたい。

答

①特別市と中核市の違いは、人口要件が、特別市の二十万人以上に対し、中核市は三十万人以上となっている。また、特別市に比べて権限移譲の範囲が拡大する点とともに、民生、保健衛生、地方教育行政などの権限が新たに移譲されることとなる。②特別市への移行により本市の基礎固めをしっかり行いながら、時代の変革や厳しさを増す都市間競争に勝ち残れる熊谷市の構築を目指している。そのうえで、行田市との合併については、同市の意向を尊重するとともに機運の醸成を見極め、慎重に対応していきたいと考えている。

○その他の質問項目

(企画課)
「災害用井戸の設置について」ほか

ワーク・ライフ・バランスについて

黒澤 三千夫 議員

問

①仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章に対する本市のとりえ方は②行動指針に示されている三つの条件に対する本市の取り組み状況は、それぞれ伺いたい。

答

①ワーク・ライフ・バランスを推進していくことは、少子高齢社会の進行、仕事と子育てや介護との両立問題等、さまざまな課題を、解決していくための重要な取り組みであるとともに、男女共同参画社会の推進にもつながる施策と考えている。したがって、ワーク・ライフ・バランス憲章はその施策の取り組むべき基本方針としてとらえている。②条件の一つである「就労による経済的自立が可能な社会」の実現については、適性診断やカウンセリング、母子家庭自立支援給付金制度を、「健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会」については、仕事と家庭の両立推進セミナーを、それぞれ実施し、「多様な働き方、生き方が選択できる社会」については今

年七月にファミリースポーツセンターを開設し、また、高年齢者就職支援セミナーの開催を予定している。

○その他の質問項目

(男女共同参画室)
「ヒートアイランド対策について(その2)」ほか

原油高騰に伴う緊急対策について

高橋 初 議員

問

原油の高騰によつて被害を受けた①所得の少ない市民への緊急対策②施設園芸農家への緊急対策、酪農家への支援策③中小業者への支援策が必要ではないか、それぞれ伺いたい。

答

①今後の原油価格の推移とその影響を引き続き注視するとともに、低所得者に対する県の支援策や他市の状況等を勘案し、対応していきたい。②国および県においては、従来の補助事業に加え、省エネ設備の導入や国産原材料への転換を内容とした緊急対策の拡充を検討している。融資資金については、本市としても借入資金に利子補給を行ってきたが、今後見直しについて検討していきたい。③昨年十月、新たに手続きの